

目標達成計画

作成日：平成 27 年 2 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議開催において家族様の参加。現状、家族様の都合がつかないこと、遠方の方など開催日、時間などの指定により参加が困難である方が多数おられる。	参加家族が少しでも増える様に遠方の方が難しい場合においても近隣の家族様への参加を願う。	開催日を数か月前よりクレール新聞や手紙にてお知らせする。家族様来訪時に声かけ気軽に参加出来る会であることの説明をする。一緒に食事を食べて頂いたり、お茶を飲みながらの話などで堅苦しい雰囲気無くす。	12ヶ月
2	2	地域の方との交流、事業所としての取組。地域ボランティアとの交流が少なかった。利用者と一緒に外出の機会を増やし顔見知りの関係を広げる。	近隣の方との顔見知り関係の構築。事業所は出来るだけ地域の催し物などの場に参加し施設を知っていただく。	近隣中心に生活する中での日々の散歩や買い物で地域の方々と顔見知りの関係を作っていく又は深めていくことの継続。地域のボランティアさんの受け入れを定期的に行う。事業所は地域で開催している家族会、ふれあいサロンなど積極的に参加し地域住民との交流を深め相談や支援に努める。	12ヶ月
3	13	職員研修の充実、個々の職員の質の向上に向けての取組。	個々の職員の資格習得へのサポートやGH職員としての認知症への専門的な知識を持つ。	定期的に施設外研修への参加。介護福祉士、実践者研修習得物を増やしGH職員(認知症)としての専門性を高めていく。新職員への育成に繋げる。	24ヶ月
4	18	施設的な支援になってきている場がある。GH本来の生活支援を考える。	今以上に利用者の心に寄り添って、家族様の声を聴いて支援する。	本人の持っている力を発揮できる機会を増やし、創作物、料理作り、散歩、買い物、個々の状態に応じた支援に力を入れて今以上に生活を楽しんでいただけるようサービスの向上に努める。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。